



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
           益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
           (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫

◎石叫■

「養老訓」

東大医学部の教授で昆虫採集が大好きな養老孟司氏の書いた「養老訓」(新潮社)に「笑うしかない」というタイトルが気になった。まずはご紹介しよう。

「私は年をとって良かったなと思うことがたくさんあります。もちろん長生きすればいいってもんじゃありませんが、一番いいのは欲がなくなるということです。例えば、異性に対して、若いうちは異性のことであれこれ頭を使うけれど、年をとれば自然と面倒になる。だからそういうことに頭も使わなくなる。欲が人生に与える影響も小さくなる。だから、適当なところでおさめる。欲がないから矩(のり)を超えないで済む。ただし、あまり若いうちから欲を超越しているというか、煩惱が薄いというのもしささか問題です。若いうちに欲がある、というのは一芸に秀でることにもつながります。私自身は最近、大抵の人がみんなかわいく思えるようになってきました。かなりの人が年下になりましたからね。素直だなあ。欲にしたがつて生きてるなあ、とニコニコしながら見ていられる。不機嫌になる必要がないのです。世間に対しても、ここまで生きさせてくれたことはありがたい、と思えるようになってきた。だからこそ、もういいや、と思えるようになるのです。老人は老人として、満足してはいけません。若い人にそれを見せたい安心させなくてはいけません。思うに私が講演会だのなんのと呼ばれるのは、幸せそうなじいさんを見たいからじゃやないでしょうか。笑っている年寄りを見ていたいんでしょう。だからじいさんは笑ってればいいのです。先日亡くなられた河合隼雄さんは、いつもニコニコされて駄洒落ばかり言っていました。人の意見を訂正するなんてこともなかった。あの年になっても文化庁長官までおつとめして、激務をこなされていたのです。それで寿命を縮められてしまいました。でも、河合さんを見て多くの方は「こんな年寄りになりたい」と思ったはずですよ。悟っている人というのはこういう人なのかと思えました。河合さんのような心境に達するのは難しいでしょう。それでもとりあえずニコニコする、それだけでいいのではないのでしょうか」

パウロは「あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい」(ピリピ四・4)と言う。彼は主の平安があり、主があなたの方の心と思いを守って下さるから喜べと言っている。人の心を捉えるのは、この喜びが一番である。それはキリストの愛と犠牲から来ている。養老氏のコメントにも、凡人が何で喜べるかのコメントがあれば最高なのだと思います。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

